

題字：鮫川小学校

4年 佐藤 楓峨さん

12月定例議会	3~4
臨時議会	5
一般質問に4議員登壇	6~10
村民の広場	11
ふるさと鮫川への想い	12

新たな時代を「飛躍」の年に

鮫川村議会議長 星 一 彌



新年あけましておめでとう
ございます。

議会を代表し新年のごあいさつを申し上げます。

村民の皆様には、お健やかに輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

日頃から村議会にご理解とご協力、ご指導を賜わりまして心から感謝申し上げます。

さて、昨年は、第126代天皇陛下が即位され、「平成」から「令和」へ時代が移り、明るいニュースも数多くありました。その一方で、10月12日に発生した台風第19号、その後の豪雨などの自然災害により、本村をはじめ東日本に甚大な被害をもたらしました。改めて被災された方々に謹んでお見舞い申し上げます。

本村におきましても1日も早い復旧・復興をめざし、さまざまな施策を実施しているところであります。

また、昨年は、統一地方選挙の年でもあり、本村においても議会議員選挙、議会議員補欠選挙が行われました。2名の議員が加わり、本村議会の新たなスタートの年でもありました。

昨年3月議会定例会におきまして、鮫川村議会基本条例を制定しました。

私たち議会は、公正中立な議会運営に努めるとともに、村民の負託に応え、豊かで幸せな暮らしができるよう開かれた議会環境をめざして参りたいと思っております。

昨今、人口減少や少子高齢化、議員のなり手不足など多くの課題を抱えて

おります。これらの課題を議会活動を通じ、村民と情報を共有し、意思や地域の課題を住民の代表機関とし村政に反映させることが、われわれ議会人として果たす役割だと思っております。なお、一層の皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

今年、東京オリンピック・パラリンピックが東京を中心に開催され、本県においても野球とソフトボール競技が予定されております。2020年が村民の皆様にとりまして、平和で希望に満ち、健康で明るく幸せな年でありますよう心からお祈り申し上げます。ごあいさついたします。

12月定例会

住宅(背後地)・農地の早期復旧をめざす

12月定例会のあらまし



関根政雄 村長

12月定例会が12月11日から13日までの3日間の会期で開催されました。

第1日目に、一般質問を行い4名の議員が登壇し、令和2年度の施政方針と予算編成、台風第19号等による災害復旧整備についてなどを取り上げ、村政を質しました。また、条例の一部を改正する条例等8件や令和元年度補正予算9件についての提案説明がありました。さらに、陳情2件が提出されており、それぞれの常任委員会に付託をしました。

第2日目に、総務文教常任委員会と産業厚生常任委員会の合同議案調査を開き、議案を審議しました。

最終日に、審議した条例の一部改正、補正予算を原案のとおり可決し、付託の陳情2件については、審査の結果、「採択」することに決定しました。

これらを日程に追加し、議題として取り上げ、採決の結果、原案どおり可決しました。

12月議会定例会補正予算の主な事業(一般会計)

歳 入	
○地方交付税	8461万円追加
○国庫支出金	
公共土木施設災害復旧事業費負担金	2億1700万円追加
消防防災施設整備事業費	689万円減額
○県支出金	
強い農業・担い手づくり総合支援交付金	1075万円追加
農地等災害復旧事業費	1億4250万円追加
○村債	
辺地対策事業債	740万円減額
公共土木施設災害復旧事業債	1億2000万円追加
農林水産業施設災害復旧事業債	760万円追加

歳 出	
○積立金	
財政調整基金積立	6441万円追加
公有施設整備基金積立	2022万円追加
ふるさとづくり基金積立	12万円追加
○環境衛生費	
簡易水道事業特別会計繰出金	336万円追加
○農林水産業費	
森林環境税交付金事業 備品購入(木製ロッカー6台、角椅子30脚)	92万円追加
○消防費	
防火水槽設置工事	2086万円減額
防災無線線繕料	122万円追加
○災害復旧費	
公共土木施設災害復旧費	3億3225万円追加
農業施設災害復旧費	1億6795万円追加

12月議会定例会補正予算の状況

会 計 別	補 正 額	補正後の予算額	
一 般 会 計	6億449万円増	38億6411万円	
特 別 会 計	国保(事業勘定)	7万円増	4億3643万円
	国保(直診勘定)	0	7728万円
	簡易水道事業	336万円増	1億3958万円
	村営バス事業	0	1229万円
	介護保険	80万円増	5億665万円
	交流施設	50万円増	1686万円
	学校給食	31万円増	1億96万円
	後期高齢者	75万円減	3712万円
	合 計	6億878万円増	51億9128万円

陳 情 審 査 結 果

厚生年金への地方議会議員の加入を求める陳情書

◆ 陳 情 者 福島県町村議会議長会

会 長 渡邊 一夫

◆ 付託委員会 総務・文教常任委員会

◆ 審査の結果 採択

◆ 本 会 議 全 員 賛 成 で 可 決

看護師と介護従事者の特定最低賃金新設を求める陳情書

◆ 陳 情 者 福島県医療労働組合連合会

執 行 委 員 長 高橋 勝行

◆ 付託委員会 産業・厚生常任委員会

◆ 審査の結果 採択

◆ 本 会 議 全 員 賛 成 で 可 決

議案
調査

提出議案の 説明を求めろ!!



総務文教・産業厚生 両常任委員会による合同議案調査

公共土木施設災害復旧工事に
3億1495万円
農業施設災害復旧工事に
1億5195万円
提出された令和元年度一般会計及び特別会計補正予算を、総務文教・産業厚生両常任委員会合同で調査しました。

総務文教 常任委員会

問 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定は

答 地方自治法及び地方公務員法の改正に伴い条例を制定する

問 消防費の需用費122万円は

答 塚本地区など防災無線の修繕料

問 体育施設備品購入費の12万円は

答 ニュースポーツ吹き矢5セットの購入

問 小学校需用費の修繕料120万円は

答 スクールバスの修繕料

問 保健体育費の負担金5万円は

答 東京五輪の聖火リレー実施協議会負担金

産業厚生 常任委員会

問 簡易水道施設排水管保護工事300万円は

答 河川氾濫による渡瀬字中野町地内の排水管工事

問 中小企業・小規模企業振興基金条例制定は

答 中小企業等の地域経済活性化のため制定

問 公共土木施設災害工事費の内訳は

答 青生野字大犬平地内他16ヶ所

問 居宅介護サービス給付費142万円の減額は

答 訪問デイサービス等の利用者の減少

問 農業施設災害復旧工事の内訳は

答 赤坂西野字萩ノ沢地内他59ヶ所



安定供給が必要な簡易水道



停電時も使用可能な防災無線



安全が求められるスクールバス

12月 臨時 議会

村補助事業 80%に増額

臨時議会は、12月20日に招集され、「分担金徴収条例の一部を改正する条例」の他に「令和元年度一般会計補正予算」が上程され、全ての議案を原案どおり可決しました。



▲ 水田の畦畔崩落被害

12月議会臨時会補正予算(一般会計)

歳 入	
○農地等小災害復旧事業受益者分担金	195万円追加
○財政調整基金繰入金	
農地等小規模災害復旧支援事業費	1400万円追加
農業用施設小災害復旧事業費	300万円追加
農地小災害復旧事業費	100万円追加
○村債	
農地等小災害復旧事業債	840万円追加

歳 出	
○農林水産業費	
農地等小規模災害復旧支援事業補助金	1400万円追加
○災害復旧費	
農業施設災害復旧費	1526万円追加



▲ 村道唐露・葉貫線の通行を妨げる倒木被害



水田への土砂流入被害

議員4人が登壇 スバリ!! 村政を問う!



P 7

北條 利雄

- 森林環境譲与税の用途と森林づくり
- 令和2年度予算編成の基本方針と施策
- 公共施設等の公設民営導入



P 9

前田 武久

- 小規模災害での起債事業
- 砂利道の村道改良



P 8

関根 浩治

- 豪雨災害復旧
- 村道整備
- 環境整備公社設立
- 次年度重要施策



P10

宗田 雅之

- ふるさと教育、キャリア教育の具体策
- 村中心地の空洞化策

議会の進行



星 一 彌 議長



前田 雅秀 議員

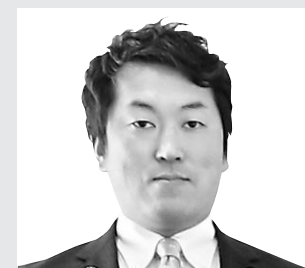


関根 英也 議員



堀川 照夫 議員

出席議員



遠藤 貴人 議員



森 隆之 議員

一般質問は、議員の日常活動を通じて、住民の声や自身の考え方をもとに、村長、教育長などの方針を問うものです。鮫川村議会は、一人あたり90分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。



北條 利雄 議員

問 森林環境譲与税(森林環境税)の 使途と森林づくりを問う

答 奥久慈材の産地として育成する



奥久慈木材流通センター貯木場

質問

森林は、山林の保全や水資源の涵養、地球温暖化防止など、多様な広域的機能を持っている。その森林から豊かな水や清浄な空気などのさまざまな恩恵を受けている。大切な森林が、林業の担い手不足などから荒廃が進んでおり、財源確保に資する森林環境譲与税(森林環境税)が配分された。これらの使途の内容と、導入を契機とする本村の適切な森林の整備や効果的な森林づくりの方向性を問う。

答弁(村長)

使途の範囲は、地域の実情に応じて幅広く弾力的に事業を実施できる。間伐等の森林整備、人材育成、担い手確保及び推進体制の構築、木材利用普及啓発などである。森林再生事業との関係、取り組む森林管理の意向調査やモデル地区設定の進め方など、近隣町村の動向も踏まえた森林資源の有効な活用に努め、奥久慈材の産地として育成する。

次のページは

一般質問

関根浩治議員・前田武久議員

問	令和2年度予算 編成の基本方針 と施策を問う
答	財源の効果的、効 率的な活用など を指示

質問

地域の活性化と人口減少抑制をめざす地方創生の取り組み、自然災害に対する防災・減災対策など、多岐に渡

答弁(村長)

る諸課題への対応が求められる。さらに原油価格の高騰、諸物価の値上げ、消費税の値上げなど、村民生活に与える影響は多大である。歳出削減路線を堅持すると同時に地方再生の施策を重視することなど、多くの課題が山積している。令和2年度予算編成の基本方針と主要な施策、歳入歳出見込みと今後の財政見通し、新地方公会計制度に基づく財務諸表の活用を問う。

たび重なる大規模災害に伴い、一般財源の確保は厳しい状況が予想される。第4次鮫川村振興計画の6年目の取り組みの強化と指数達成。限られた財源の効果的、効率的な活用。公約の村づくり8項目の実現。村民の暮らしや現場の声を受け止め、改善や問題解決に取り組む姿勢を指示。財務諸表は、人件費を含め比較が有効な場合や、建物の減価償却費を考

問 公共施設等の公設
民営の導入を問う

答 個別施設計画策
定の中で検討する

質問

慮し比較する場合などに有効になる。複数年の決算内容が比較できる状態で、公開し活用する。

答弁(村長)

施設の適正配置。民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの民間主導の導入。公共が資金調達を負擔し、施設の設計・建設、運営を民間に委託する、民間の提供するサービスに依りて公共が料金を支払う公設民営の導入を問う。

膨大な費用を要する老朽化した公共施設等の維持・更新は、「公助」の果たす役割として、迅速に取り組む重要な課題。公民連携という官民が連携して公共サービスの提供等を行う手法を活用することで、老朽化した公共施設等の改修、維持保全を効率的・効果的に進める可能性がある。公民連携手法の導入推進に向けた調査。公共施設の利用需要の変化、財政状況を的確に見込んだ、施設の統廃合や維持管理も含めた公共



関根 浩治 議員

問 台風及び豪雨災害復旧と次年度重要施策を問う

答 災害復旧事業と担い手、創業、人材育成、雇用促進を図る



早期復旧が望まれる台風19号被災箇所

質問

台風19号とその後の豪雨災害による本村での被害復旧状況について、また次年度作付けに支障のない整備と現状は。

答弁(村長)

公共土木災害復旧事業で、河川15箇所、道路12箇所、計27箇所。農地等災害復旧事業が、水田38箇所、畑4箇所、河川堰1箇所、水路24箇所、農道7箇所の計74箇所を災害復

旧事業として工事発注したい。

再質問

農地等小規模災害復旧事業で、2分の1助成についての起債事業の取組みは。

答弁(村長)

11月25日から一週間の受付状況は69件。今後、申請件数が増加するのでは。村一括発注工事で春先までの完了困難で、内部検討の結果、断念した。

再質問

国庫補助起債事業断念で、公共土木災害復旧対象被害者、農地等小規模災害復旧対象者との、受益者負担で不公平感があり、村民の財産及び村財産を適正な仕事により守るのが、役場職員及び議員の仕事であり、再度検討を求める。

答弁(村長)

被害者の不公平は指摘の通りで、起債適用工事該当になるか受付

状況を鑑み、激甚災害特別小規模災害事業を、再度検討する。

問 村道整備を問う

交付金事業実施で進める

質問

村道官沢・余所内線の2車線改良計画と、村道浅川・菅ノ目線の舗装補修整備計画は。

答弁(村長)

平成8年12月陳情受理したが、財政事情により未実施。今後は交付金事業活用で、浅川線も同事業活用で実施検討する。

再質問

村道の宝木地内丁字路交差点取付け急勾配解消は。

答弁(村長)

現況を勘案の上、一時停止できる勾配の解消、路面処理等の方策実施する。

問 環境整備公社設立は

雇用促進含め、設立を検討する

質問

環境整備公社設立は。

答弁(村長)

本村の現状を踏まえ、農地荒廃防止や、集落間共同作業を通じた集落環境の諸活動支援、農作業支援、環境維持、生活支援ニーズを束ね、雇用の促進を含め設立に向けて検討を重ねる。

再質問

中山間直接支払制度の次年度取組みに向けた事務軽減策として、部落担当制を問う。

答弁(村長)

村民に役立つ職員教育と担当制もつげながら、新しい中山間直接支払制度の加入促進を図る。

問 次年度重要施策を問う

若者支援、創業支援、人材育成、雇用促進を図る

質問

基幹産業としての畜産振興と農業、林業、商工業の重要施策方針は。

答弁(村長)

農家の高齢化に伴う肉牛管理ヘルパー制度導入、担い手育成支援制度を活用し、畜産振興策を講じる。若者等の農業就業支援、林業再生事業、森林環境譲与税の活用、中小企業・小規模企業振興基本計画条例に基づいた創業支援、人材育成、雇用の促進策を進める。

再質問

高齢者優良貸付制度の予算増額と貸付対象農家上限枠拡大と新技術導入を問う。

答弁(村長)

優良貸付制度と補助金規制緩和提案は、価格安定時での支援策の検討をする。



前田 武久 議員

問 小規模災害は有利な起債事業の取組を

答 国庫補助金と村単独事業で復旧

質問

- 災害復旧について
- 一、激甚災害認定件数の把握と、復興作業の進捗状況は
 - 二、単独事業の件数、農地施設等を伺う
 - 三、来春耕作可能への取組みを
 - 四、単独事業への申請支援指導を伺う

答弁(村長)

国庫補助事業の公共

再質問

土木施設、農業施設、村単独の農地等の小規模事業、住宅背後等で25件、住宅再建1件、自力施工27件。申請は自主的に2月末まで受付ける。

手続き指導を親切に行うべき。農家負担50%でなく、1%で済む起債事業を活用すべきと進言しているが、なぜ

出来ないのか。国からの激甚通達があったはず。

答弁(村長)

12月中旬頃まで申請と通達があったが、事務の続きが間に合わないと判断し、2万円から40万円を50%補助で進めている。

再質問

本村での小規模災害は負担額の少ない有利な事業に取り組まず、負担額50%となる。大変な不公平を生むため、国県に申請期間の是正、緩和を求める努力をすべき。

答弁(村長)

有利な起債事業でと何度も協議したが、工期内未完成を想定し断念した。しかし、区長会や農業委員会からの要望、前田議員からの質問を受け、単独事業補助額を80%に引き上げたい。今後、臨時議会を開催し承認を得たい。

再質問

公共工事(40万円以上)の復旧、工期の見通しは。

答弁(村長)

工期は3月末で切り、金額が大きくなる件は繰越しとなる。

問 砂利道の村道改良について

前向きに改良を進めたい

質問

村道唐露・葉貫線は歴史ある主要道であるが、他の村道と比較して改良が遅れ、現在も急坂、砂利道である。戸草から唐露、遠ヶ竜、古殿に至る生活道であり、過去に何度も質しており、改良の必要性を重じている。

答弁(村長)

当村道は平成3年に唐露集落の一部を整備、未改良部分1.8キロについては費用対効果

で採択されない。

再質問

質問の度、経費がかかる。善処するとの答弁。砂利道で残る村道は数路線。今までの改良検討協議内容の報告を求める。

答弁(村長)

葉貫の通勤道として大切な村道。国、営林署との併用道路となっているが、他の村道の難所地区を現状舗装した経過もある。改良の見通しを前向きに進めたい。

再質問

葉貫で唯一の生活道の改良を、住民は新村長に期待している。

答弁(村長)

生活基盤の整備を怠ること、村をあとにすることのないよう、住民の望みを果たすことを視点に置くことが、私の偽りのない心の中である。



河川氾濫による水田への土砂流入



宗田 雅之議員

問 ふるさと教育、キャリア教育の 具体策を問う

答 社会人としての豊かな人間性の育成



キャリア(経験)を活かして将来を見据えるキャリア教育

質問

村づくりは人づくりの基、村長の考えるふるさと教育、キャリア教育への思い、具体策を伺う。

答弁(村長)

学歴、学力重視の教育だけではなく、実社

会でも活用できる、問題への解決力、交渉力、判断力を養うことが求められる教育と考える。その為の村の歴史、文化、産業への学び、人生学を積んだ方、有識者からの学びを通して、諸問題への対応など、自主性、自立性を

高めることで、社会人として求められる人間性を豊かにすることができると考える。

再質問

ふるさと教育の中で村の歴史、文化を継承し、未来へ繋いでいく為にも歴史民俗資料館の存在は大事である。利用状況は。

答弁(村長)

場所的な面もあり、利用状況が少ないと感じている。視察入館できるよう、教育委員会を通じて考えていく。

再質問

キャリア教育の趣旨は、様々な教育活動を通して一人一人の基礎的、応用的能力の発達や育成、職業人としての自立を促すことが最大の目的であると聞くが、指導に当たる方々、教育委員会などの対応と育成は。

答弁(村長)

村全体で子供を育てるという意識がない限

り、子供たちは育たない。今のところ不在であるが、教育長の手腕にもかかるところ。今後、教育長の人事においては、しかるべき時期が来たときに人事案件として提出したい。

再質問

キャリア教育の中で、個々に指導するキャリアアカウントリングが極めて重要であると聞くが、対応は。

答弁(村長)

キャリア教育の趣旨、方針を組み立てる中で、人材の活用も視野に入れながら骨格をつくる。

いるが、空き家、空き地が目立ち、防犯や防災上も大変危険される。一日も早い対応を図るべきと考えるが。

答弁(村長)

人口減少、空き家対策は最優先課題と認識している。防犯や景観保全を勘案しながら、所有者の意向を確認した上で講じていく。また有効活用できるよう、空き家バンク等を利用して、情報の提供と広報を高めるなどの協議を重ねていく。

再質問

小学校周辺に防犯、防災上も危険が伴う空き家が存在する。現状を把握して、対策を急ぐべき。

答弁(村長)

危険な建物があるのは確認している。地主と相談しながら早急な対応をする。

問 村中心地の空洞化策を伺う

答 防犯や景観保持を勘案しながら対策を講じる

質問

中心地の空洞化策は以前にも何度か質して

村民の広場

～スポーツクラブの紹介～

鮫川村スポーツ少年団 学童野球部

地域の皆様には、日頃よりスポーツ少年団の活動にご理解とご協力を賜りまして深く御礼申し上げます。学童野球部は現在1年生から6年生まで男女21名で活動しています。

野球部という「厳しい・辛い・勝利至上主義」



など負のイメージを持たれる方もいらっしゃるかもしれませんが、私たちのチームは「野球を楽しむ」をモットーに明るく、楽しく、笑顔で、雰囲気良く活動しております。

昨年7月に行われた「マクドナルド杯」では、県南予選を勝ち抜き県大会に出場。県大会では強豪を次々に撃破し、開成山（ヨークスタジアム）で行われた準決勝まで進み、福島県3位という成績を収めました。しかし、この輝かしい成績を残した6年生も2月に卒団し、団員14名と減少してしまいます。野球に興味のある方はぜひ体験にお越しください。お待ちしております。

- ◆活動日：火曜・木曜
- ◆代表者：部長 関根 成人
監督 石井 清洋

議会議員研修

ビッグパレットふくしまで行われた福島県町村議会議員研修会にて、明治大学地域行政学科長 牛山久仁彦教授から「町村議会議員の議員報酬等のあり方について」を学びました。

町村議会議員研修会



ふるさと鮫川への想い シリーズ³⁵



関根 和男さん
埼玉県川口市在住
(西山字戸倉出身)

◆プロフィール

生年月日 昭和16年10月16日生
昭和33年 日大附属東北高校中退
昭和37年 都立赤羽高校卒業
昭和37年 公認会計士事務所入所
昭和54年 同事務所退所
昭和54年 株式会社 ユタカ工業 総務課
関根事務所(経営コンサルト)設立



ふるさとを想うとき

柿の木の苗木を7年前に手に入れたのが、今年になって10数個の大きな実を付けました。ふり返ると62年前、お家の事情で白河から独りで東北本線で上京することとなり、故郷が脳裏から離れることはありませんでした。

鮫川村役場には親父と兄貴が勤務していた経緯もあり、幼少の頃は兄貴のいる役場に2、3度、行ったことがあります。

その頃の役場は現在ほど立派ではなく、平屋建てで近くに石材屋があったように記憶しております。

西山の戸倉部落に生まれ育ち、当時は家族も大世帯でした。上京してから田舎に帰るのは数年に一度くらいで、その都度…ふるさとを想うとき…四季折々の山河のせせらぎ、草花、適度のアップダウン等、数えたらきりがなく何

とも言えない自然は今も忘れることはありません。

時代の流れは余りにも早く、戸倉部落でも当時は八世帯ほどありましたが、最近はその半数が空き家と化し、社会現象と思わざるを得ません。

ふるすとは、地元鮫川の皆さまで守ることにあります。



ゆうきくんからのお願い

3月定例議会は
3月中旬の予定です。
**議会傍聴に
来てくんちナイ!**



編集後記

新年明けましておめでとうございます。一年の計は元旦にあり、令和二年の年頭にあり、皆様におかれましては新たな「夢」と「希望」を描いて新年を迎えられたことと存じます。

漢字「念」には、立派な、おめでたい、喜ばしいという意味があるようです。新しい時代の始まりとして「令和」にふさわしい村議会を目指してまいります。
(広報編集委員)